

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

No.149 2021 年 12 月



事務局：〒604-0076

京都市中京区東堀川通丸太町下ル七町目 2-12 シャンブル丸太町 305

TEL / FAX : 075 (748) 1507

E-mail : office@kyo-psw.org

Home Page : <https://www.kyo-psw.org>

【10 月例会報告】

テ ー マ：新人向け研修！一事例を通して振り返る、PSW としての自分-

日 時：2021 年 10 月 23 日（土）14：00～15：30

会 場：Zoom によるオンライン配信

参加者数：6 名

10 月例会は、研修部の若手チームで企画しました。定期的に行っている PSW の仲間同士でおしゃべりをする「ピアスーパービジョン企画」の特別編として、京都精神保健福祉士協会の活動を知ってもらい、日々の自分の仕事について振り返る機会を作りたいと思い、開催しました。参加者は 6 名と少人数ではありましたが、病院や就労支援の事業所等、異なる仕事内容・職場環境で働く方とお話することができ、自分にとって新しい考え方を学ぶ機会になりました。

初めに、会長より京都精神保健福祉士協会の活動について説明がありました。また日本精神保健福祉士協会との活動の違いについても改めて説明がありました。活動の概要だけではなく、PSW として自己研鑽していくことの重要性についての話もあり、事例検討前に気合を入れてもらいました。

次の事例検討では、面談場面でのクライアントへの対応、職場での気になる先輩の行動、の 2 つの架空事例についてディスカッションを行いました。事例に対して、自分ならどのような行動を取るか、また相手はどのような思いや考えがあって、その行動を取ったのかということをお話すると、私たち支援者の大事にしている想いは共通であるが、異なる考え方や捉え方により様々な行動を取ることができると再認識することができました。支援の可能性を広げるためにも、自分にはなかった考え方の引き出しを増やすことは必要であり、他の現場で働く PSW の話を聞くことは自己研鑽になりました。

事例に関してだけではなく、お互いの職場の状況や最近悩んだケースについても話し合いました。仕事が忙しかったり、対面での研修の機会が減ったりしたこともあり、普段はあまり吐露することのなかった思いを共有できた時間になりました。お互いにアドバイスやエールを送ることで励まされただけではなく、他の現場で活躍している PSW の仲間の存在を感じられたこと、また、自分と同じようなことに悩んでいる人がいることを知れたことでも励まされました。

少人数の開催であったため、参加者全員と密な時間を過ごすことができ、有意義な時間となりました。今後は、定期的に行っているピアスーパービジョン企画の内容にも工夫をし、多くの PSW の仲間と出逢い、語ることで PSW として自分について考える時間を作りたいと思っています。

(研修部)

* * * * *

【リレー職場紹介】



特定非営利活動法人
ほっとうがらし ほっとハウス
丸一俊介さんです

京 P 子ちゃん

私が働いているのは、宇治市にあるほっとハウスという事業所です。約 30 年前に精神障がい当事者の方たちが「家でも病院でもないほっとできる場所が欲しい」と開設しました。現在は自立訓練（生活訓練）と生活介護の多機能型事業所になっています。私が入職したのは 9 年前、小さな民家にひしめき合うようにメンバーのみなさんが過ごしていました。就労する中で苦勞された方も多く「今さら工賃作業したくない」「町の中の居場所が欲しいんや」という語りをよく聞きました。今もそうですが、医師や薬の悪口を言い合ったり、支援者以上に的確なアドバイスを送り合うメンバーさんの交流があり、「ステップアップして就労してより良い暮らしをしていく」という在り方とは違う、人の輪の中で疾患がやわらいだり、笑いに変わったりする事の意味を感じました。

入職 2 年目に前所長から引き継ぐ形で施設の責任者となりました。ここ数年は施設の老朽化やメンバーさんの高齢化に伴うバリアフリー化など必要性に迫られ 3 年前に新しい施設を建設・移転する事業を行ったり、一人暮らしの方の夜間帯のニーズ、ご本人と高齢化するご家族の休息ニーズに応えるために短期入所事業「わたしの寝床」を立ち上げたり、と目まぐるしく過ぎて行ったように思います。

職場外では「マイクロアグレッション」という新しい差別概念についての調査活動や普及活動を行っています。聞きなれない言葉かもしれませんが、対人援助職である精神保健福祉士にとってこの概念は非常に重要なものです。例えばこんな例が報告されています。

司会) 知名 書記) 齊藤

※概要報告はホームページ（会員ページの「役員会・委員会」より）をご確認下さい。
（会員ページ ID : kyopsw、Pass : 2020kmhs）

【事務局より（会員の動向）】

入会

○岡本満里恵さん 所属）伏見ふれあい福祉会 京都ふれあい工房

10月4日現在 328名

【事務局よりお願い】

○退会について

現在退会を検討されている方は、必ず事務局に届出をお願いいたします。届出方法は下記をご確認ください。

○変更届について

所属や郵送先、配信メールアドレスの変更などございましたら、事務局に変更のご連絡をお願いします。

届出方法

協会ホームページ（会員ページ内）・事務局へメール・FAXにてお願いします。

（変更届・退会願は会員ホームページ内からも直接行えます ID等は役員会開催報告を参照してください。なお、メール・FAXは通信の1ページ上段をご確認ください。）

※退会願

<http://horse-orange-183c3b86bf55072e.znkc.jp/pswkaiin/media/1/taikainegai2019ver.pdf>

※変更届

<http://horse-orange-183c3b86bf55072e.znkc.jp/pswkaiin/media/1/henkotodoke2019ver.pdf>

【今年度もあと3ヶ月ほどです。会費はお早めに納付お願いします。】

年会費 ￥4000 口座名義 京都精神保健福祉士協会

【1】郵便振替（振込用紙は青字をご使用ください）

口座番号 00960-7-120392

【2】ゆうちょ銀行

金融機関コード 9900 店番 099

預金種目 当座 店名 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

口座番号 0120392

【ほっと一息コーナー】



「さぼうえんてい」

我が家からほど近い竹藪側に、雨上がりになると見事な川音が響く川があります。川といっても、掛かっている橋といえば、数歩で渡り切れるほどの幅で小川と言ってもいいかもしれません。普段の水深は、うっすら川底の表面を覆うほどです。しかし、とても深い水深が想定され勾配に応じて棚が段々と設けられています。川底も川べりもコンクリートで固められています。

転居したての頃、珍しい治水工事だな、用水路の名残かもしれないな、と、それ以上意識はしていませんでしたが、雨上がりに勢いよく流れる川の音は、心地よさもあって、散歩がてら眺めに行くこともよくありました。

ある日、川べりを散歩していると、何やら読み方の難しい看板を発見。「砂防堰堤」。もちろん帰宅して調べました。「さぼうえんてい」です。京都府の砂防指定を表す看板でした。元から流れる小川は、大雨が降ると土砂災害を引き起こしていたようです。京都の砂防の歴史は古いらしく、大同元年（806年）まで遡れるそうです。

この深い水深を想定した棚を設けたコンクリート枠の川は、町を守るための治水と砂防の知恵が脈々と受け継がれた上での形のようにです。詳しくはよく知りませんが（笑）、雨が降ると、高い川音を響かせながら竹藪に囲まれた棚に見事な水流が現れます。この音と景色を、とても気に入っています。（内田）

・

【編集後記】

レモンと砂糖で煮たさつまいも、もちろん美味しいのですが、何より煮汁のお味が最高です。（内田）

今年ついに我が家はクリスマスツリーを出しました。子供に倒されたら危険と今まで出さずにいたのです。毎年少しずつ飾りを増やし、子供と一緒に飾り付けをするのが楽しみです。（萬）